

第5回東久留米市スポーツ健康都市宣言起草委員会 会議要録

■開催概要

| | |
|--------|---|
| 【開催日時】 | 令和2年7月17日（金） 18:25～19:30 |
| 【場所】 | 東久留米市役所 庁議室 |
| 【出席者】 | 委員：井部委員、栗田委員、島崎委員、出張委員、仲俣委員、 前田委員、山村委員 事務局：企画調整課長、他3名 |

■議事

1. 開会

一事務局より開会の挨拶

2. 策定スケジュールについて

一事務局より「資料1 スポーツ健康都市宣言 策定スケジュール（令和2年7月改訂版）」に基づき説明

→事務局の提案のとおり策定スケジュールとする。

3. 都市宣言文の検討について

資料2について事務局より説明後、リード文のたたき台について意見交換を行った。

【委員】睡眠という要素は健康都市宣言なら良いが、スポーツ健康都市宣言であるため違和感があると思われる。

【委員】全体的に柔らかい表現で誰にとっても分かりやすく良い。睡眠は健康のための重要な要素なので入っていても良いのではないかと。

【委員】まとまりがあって良いが、スポーツの要素が弱いように感じる。

【委員】今後習慣として根付いていくと思われるため、新型コロナウイルス感染症をきっかけとする新しい生活様式についての表現を入れるべきではないかと。

【委員】スポーツと健康の両方についての宣言なので、睡眠が入っていて良いのではないかと。

【委員】都市宣言は永年にわたるものなので新しい生活様式についての表現は入れない方が良いのではないかと。

【委員長】睡眠については入っていて良いという意見が多いので、入ったままとする。フレーズではスポーツの要素が強いので、リード文はこのままで良いのではないかと。

【委員】都市宣言文全体ではスポーツの要素がしっかり入っているのでこのままで良いのではないかと。

【委員長】食と睡眠によって免疫を高めることが健康であることに繋がるので、大きな意味では感染症対策の要素も入っていると思われる。

リード文のたたき台を素案とするが、感染症対策についての表現を入れるかどうかは予備回にて状況を踏まえて判断することとする。

については、リード文はたたき台をそのまま素案とする。
次に、フレーズのたたき台と先頭のパターンについて意見交換を行った。

【委員】子どもから年配者まで、誰にとっても分かりやすい。「～しよう」という表現が柔らかくて良い。

【委員】スポーツに親しみがない方に向けた表現があり良い。

【委員】個人も仲間も大切にしている表現で良い。

【委員】付番すると硬い表現になってしまうので入れない方が良い。

【委員】語呂が良いので付番しない方が良い。

【委員】全てが一番なので付番しない方が良い。

【委員長】フレーズのたたき台をそのまま素案とし、付番しないこととする。

[意見を踏まえて決定した都市宣言文（素案）]

<リード文>

水と緑に恵まれたこのまちに暮らす私たちは、彩り豊かな食生活と質の良い睡眠を心がけ、スポーツという言葉を超えたコミュニケーションに親しみ、楽しむことで、だれもが健康で活力に満ちた地域の実現をめざします。

<フレーズ>

スポーツにふれて

自分らしい楽しみや喜びを見つけよう

笑顔になって、健やかな心と体をつくろう

仲間とつながり、交流の輪をひろげよう

4. その他

→事務局より、予備回及び第6回起草委員会の日程について確認

→どちらも調整の上、改めて確認するものとする。

—以上—